

ステップ2 SR&Enに発展させてみませんか



KESでは3・11東日本大震災の教訓と、ISO14001を強化するISO規格の発行を考慮して、ステップ2のオプション版である「ステップ2SR(社会的責任)」と「ステップ2En(エネルギー管理)」の二つの新規格による審査登録を2012年10月から開始しました。

私たちは、東日本大震災の未曾有の被害状況とその後の復旧状況から「持続不可能な状況」が、ますます拡大していることを思い知らされました。また、同時に発生した原子力発電所事故により、「エネルギー供給の危うさ」を、多くの方が痛感されたと思います。

一方、ISOにおいては、2010年にISO26000(社会的責任に関する手引き)、2011年にISO50001(エネルギー管理システム)が発行されました。前者は「持続可能な発展への貢献を最大化」することを目的として発行され、後者は「エネルギーパフォーマンスの改善」に特化したマネジメントシステムです。

以上のような状況変化を考慮して、KESでは「持続可能な発展への貢献を最大化」「低炭素・低エネルギー社会」を推進するしくみが必要であると考え、二つの新規格を発行し、審査登録事業を開始しました。

KES新規格とISO規格の関連性

持続可能な発展：ISO14001対応 ⇒ **KESステップ1**
(初級バージョン)

持続可能な発展：ISO14001対応 ⇒ **KESステップ2**
(中級バージョン)

取組みの幅を広げる

KESステップ2SR

持続可能な発展への貢献を最大化：ISO26000の要素を導入

★KESステップ2SRでは、ステップ2の環境改善目標に加えて、社会的責任の「中核主題」「著しいSR影響項目・重要SR活動項目」を特定し、SR課題を設定して、課題達成のための取り組みを行っていただきます。

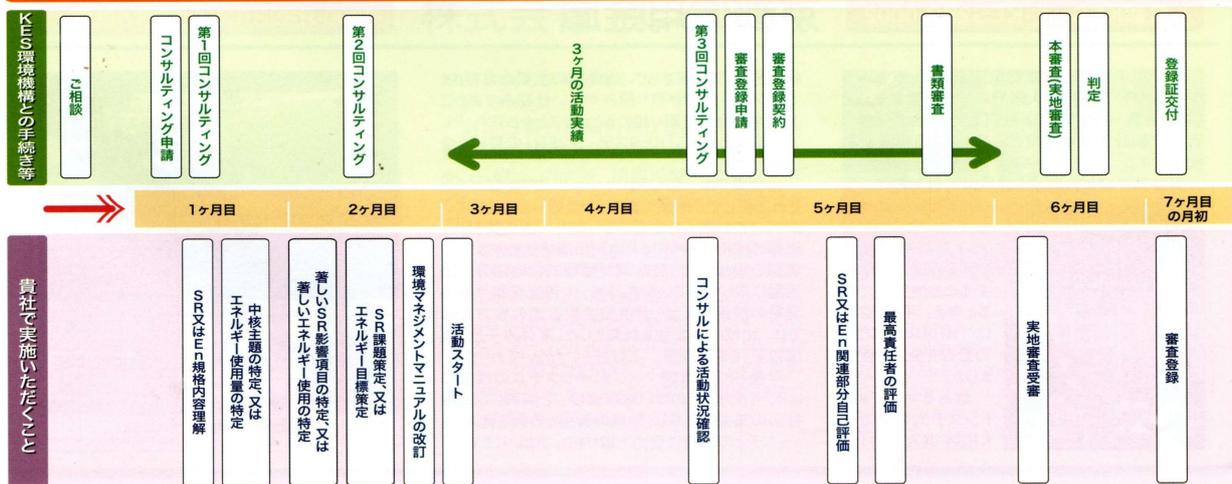
取組みの質を深める

KESステップ2En

エネルギーパフォーマンスの向上：ISO50001の要素を導入

★KESステップ2Enでは、ステップ2の環境改善目標に加えて、エネルギーレビューにより「著しいエネルギーの使用」を特定し、エネルギーパフォーマンスの向上の取り組みを行っていただきます。

●「ステップ2」から「ステップ2SR」又は「ステップ2En」への移行手順 (新たな取得はS1,S2の手順を参照ください)



★★ 具体的な ステップ2SR移行の推奨方法 ★★

- ① 会員様がステップ2の審査時に取組みたいとの意思表示をする
- ② コンサルに入りませう(担当は古田主管審査員)
- ③ 次回の審査をステップ2SR移行審査とする(担当は山本主管審査員ほか)

お知らせ56号

★★ ステップ2SRへ 移行時の必要費用 ★★

- ① ステップ2SR移行コンサルト
3時間/1回を原則 3回の計9時間 【費用 1回 20,000円(消費税抜き)】
- ② 移行審査(確認審査)
従来のステップ2確認審査費用 プラス 10,000円(消費税抜き)

★ ご請求方法
移行審査(確認審査)時点で審査費用と合わせてご請求いたします。